

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第10回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 金谷地区公民館について（回答）（公開）

(2) 地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）

(3) 金谷区の地域課題について（公開）

3 開催日時

平成29年12月20日（水） 午後5時58分から午後7時18分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、伊崎博幸、
牛木喜九、桑山敏男、高橋敏光、竹内恵市、永野起男、西条聖士、
山口茂幸

・社会教育課：川上参事、加藤係長

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、槇島係長、小林主事

8 発言の内容

【小林主事】

・石野委員、伊藤委員、齋藤委員、土屋委員、吉村委員を除く11名の出席があり、
上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上
の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：伊崎委員、牛木委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）金谷地区公民館について（回答） —

【高宮会長】

次第3 報告（1）「金谷地区公民館について（回答）」に入る。

市教育委員会社会教育課に説明を求める。

【社会教育課 川上参事】

資料No.1により説明。

【高宮会長】

社会教育課の説明について、質疑を求める。

【高橋委員】

この件は長年の要望。今ほどの話では、前向きに考えているとのこと。私たちは移転新築を前提に考えているが、もし他により案があればそちらも採用してもらい、我々の元気なうちに何とかしてほしい。これで終わりにせず、前進してほしい。

【川住副会長】

今の話は、金谷区に新築なりで公民館を作りたいという話だったと思う。将来、金谷区内に公民館ができると受け取ってよいか。

【川上参事】

回答書に書いてあることが全てである。市では具体的な方法を持っていないのが実情である。今後、皆さんと相談しながら一番よい方法を探りたいため、今後もまたご指導いただきたい。

【川住副会長】

現状の公民館の利用状況を見ると、金谷区よりも高田区の利用者が多い。また、区の中に公民館がないのは金谷区だけだと思うがどうか。

【川上参事】

そのとおり。

【川住副会長】

そうですね。

そのため、子どもたちの集会所がほしいとの意見が出ている。現在の公民館で学校の寄り合いや発表会などの行事はできない。金谷区の人たちにとって、とても利用しにくい。その辺を早く取り組んでほしい。

【川上参事】

地域自治区の区域の中に公民館がないのは、金谷区だけである。

我々も公民館事業に支障がないよう、例えば大貫の町内会館を借りるなど、少しでも集まりやすい場所で事業を展開している。

今後皆さんと協議しながら、一番よいところを探っていきたい。

【山口委員】

進捗を早めるために、この回答書に基づき、例えば検討委員会を作り構想などがある程度考えていかなければいけないと思うが、それは考えているか。

【川上参事】

早いに越したことはないとの意見も先ほどあったが、そのスケジュールも含めて相談させてもらいたい。

【高宮会長】

市の整備計画があったと思うが、その中ではまだ難しいのか。何年から実施するのか。

【川上参事】

金谷地区公民館もそうだが、整備を急がなくてはいけない施設がいくつかあるため、具体的に何年度という計画まではない。

【永野委員】

今後、いろいろな問題についてこちらから要望があれば、いつでも相談に乗ってくれるという姿勢か。

【川上参事】

この件に限らず、どのような内容であっても、市では誠心誠意相談する、あるいは相談に乗るという方針に変わりはない。

【桑山委員】

耐震対策が不十分との話だったが、もし地震等が起きた場合大丈夫なのか。

【川上参事】

耐震強度が不足しているところは、他にも市内にいくつかある。当然、安全安心な市民の生活を守るためには、優先課題と考えている。我々もそれは早く進めていきたいと考えている。

【村田副会長】

金谷地区公民館について3点の弊害があるとのことだが、それだけ問題点があるにもかかわらず、回答書には具体的に金谷地区公民館をどうするかが何もない。安全安心が第一とのことだが、耐震が心配だと言っていることに対して、この文面には何も言及されていないように見受けられる。

この答弁では、何かうまく包まれているようだ。私たちが物申したことに、これで納得してほしいと言われてもいかなものか。

【川上参事】

金谷地区公民館については、立地、駐車場や施設が狭い、そして耐震強度という問題がある。

他の地区の公民館については、旧町村では村や町に1か所だったため非常によいものが建っているが、合併前上越市ではそれと比べると条件が悪いところが多い。

金谷地区ではある程度不便をかけているため、我々の中では優先順位が高い。まるで計画がないとの指摘があったが、それも含めてこれから一緒に協議させてもらいたい。

【竹内委員】

私は公民館運営委員をしており、その中でも新しい公民館が必要だと話している。しかし、運営委員は公民館の事業を運営するための委員であり、あまり発言の効果はないと思っている。

道路関係であれば、平成30年まで明確に計画があり、平成31年からは新しい計画に基づき整備して行く。公民館もそのように、平成31年から地域の皆さんと相談していくなどの見通しを立ててほしいが、いかがか。

【川上参事】

そのスケジュールも含めて、皆さんと相談させてもらいたい。

【伊崎委員】

金谷地区公民館に関しては、先ほど挙げられた問題点があり早く新築や移転を、ということを経谷の住民みんなの意見としてまとめ、意見書という形で提出した。

今後、我々は具体的にどういった行動を起こしていけばより早く事が進むのかと悩んでいた。署名を集めるべきなのか。具体的に金谷の住民として何かできることはあるか、教えてほしい。

【川上参事】

我々としては、すでに意見書をいただいております、皆さんの思いは十分に受け止めている。皆さんの方でこれだと思うものがあれば、それでよろしいかと思う。私からは、具体的には思い浮かばない。

【西条委員】

金谷区でしたら他の区も、となってしまうため、ここで担当者から「やります」とは言えないだろう。我々は意見書しか出せないため、来年度もまた意見書を出していくしかない。

村山市政で予算に余裕があると聞いており、優先順位などもあるため難しいのだろうが、公民館のひとつくらい作れるだろうと考えてしまう。例えば、現在の金谷地区公民館の土地を売却して、その資金に転用する。一般企業が移転する場合は、売って資金にしようとする。あの土地は更地にすれば売れるのではないか。是非柔軟に考えてほしい。

【牛木委員】

こちらで要望を出したが、力が足りないと思った。金谷地区振興協議会からも要望が出ていると思うため、促進する会を作ればよいのではないか。

一次第4議題(1)地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて一

【高宮会長】

次第4議題(1)「地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて」に入る。

事務局に説明を求める。

【小林主事】

資料No.2～No.5により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求める。

【山口委員】

前回協議して変更した点に間違いはないか求めているのか、それともこれに加えるものはないか求めているのか。

【高宮会長】

この修正案は、前回会議で決まったことをまとめたもの。

【山口委員】

これでよいかどうか、ということか。

【高宮会長】

そのとおり。

【川住副会長】

前回で協議は終わっている。これでよい。

【高宮会長】

来年度の地域活動支援事業の募集要項、審査・採択のルール等について、資料No.2～No.5のとおりとすることを諮り、委員全員の了承を得る。

一次第4議題（2）金谷区の地域課題について―

【高宮会長】

次第4議題（2）「金谷区の地域課題について」に入る。

本日は、資料No.6に挙げたテーマの中から、自主的審議事項として取り上げるものがあるかどうか、協議したい。

なお、本日5名の委員が欠席のため、今回はテーマを出すところまで行い、欠席委員にその結果を配り、次回の地域協議会でどれを取り上げるか協議することによりか諮り、委員全員の了承を得る。

自主的審議事項に取り上げた方がよいというテーマについて、意見を求める。

【伊崎委員】

「9. 他団体や他地域との連携」に重点を置きたい。私はこの地に住んでまだ短いため、どんな活動団体があり、どんな役割をされているのかを把握していない。

おそらく若い住民の方は同じような感覚だと思うため、どういった組織があるかを把握できれば、より連携して金谷区の地域活性化のアイデアが浮かぶと考えている。

自主的審議事項にするのはどうかとも思うが、とにかく金谷地域の意見を吸い上げる場所を作りたいというのが一番の思いである。

これまでいろいろな地域へ行って住民の意見の吸い上げを行ったが、そういった意見交換を定期的に行えば、より意見の吸い上げができ、今後のアイデア等も住民から出してもらえれば活性化につながるのではないかと。

【牛木委員】

話をよく理解していない観光を元にしてもよいのか。

【高宮会長】

そのとおり。資料No.6の中から、取り上げた方がよいものを挙げてほしい。

【牛木委員】

以前から話は出ているが、観光について金谷地区には拾い上げるものがたくさんあるが、あまりに広すぎるためつかみどころがない。どこかで吸い上げて、目玉を

ひとつでも見つけ出していけないか。中ノ俣という山の中にいるため広い付き合いはできていないが、山の中とばかり言っていられないため、金谷地区のよいところを皆で考えて拾い上げて行きたい。

【桑山委員】

いろいろな意見を聞くが、その問題をどこに問い合わせればよいのか分からない。団体名やそれがどういう関係の組織なのか全く分からないのが現状だと思うため、その辺が分かるようになればもっと一般市民から意見が出てくるのではないか。

【高橋委員】

1 2項目書いてあるが、「1. 観光」は観光でよいし、「2. 人材発掘」もそのまま残す。

「3. 買い物支援」、この辺りは少し難しい。誰がするのか、この会議では恐らく結果が出ない。

「4. 地域の組織の一本化」は、意見の意味がはっきり分からない。具体的な核がつかめないため、返答できない。

「5. 移住、人口対策」は上越市全体のことだが、金谷区としても。現在金谷区全体の人口は横ばいで維持しているが、これからどんどん減ることから、対策が必要。

「6. 山間地農業」は、イノシシの問題について金谷地区振興協議会で市へ要望を出したところ、1月から多少捕獲してくれるとのこと。動物愛護の方々となかなか話がつかなかったが、ある程度の数の被害が出てきたため、猟友会と1月から捕獲を始める。捕獲については、恐らく回覧板で回っている。それはここで考えるのではなく、そちらへ任せるしかない。また、畑や農地の周りに電流を通した電線を張ると補助金が出る。うちの町内でも、それを活用した方がいる。その辺は市が考えてくれているため、「6. 山間地農業」は不要。

「7. 路線バス」は、話をしてもよい。

「8. 携帯電話の電波」は、金谷地区振興協議会で毎年要望を出しているがなかなか実現せず、つながる場所とつながらない場所がある。これはそのまま延長していきたいと思うため、地域協議会でどうするかは皆さんで決めてもらいたい。金谷

地区振興協議会では、毎年出ている課題である。

「9. 他団体や他地区との連携」について、どのような団体、協議会があるか。提案した方が知っていれば出してもらわないと、このままでは進みようがない。

「10. 雨水排水」は、金谷地区振興協議会で問題のある場所について市へ提出しているため、残してもよい。

「11. 不法投棄」については以前も説明したが、南葉林道、金谷地区振興協議会で各町内会に回覧板を回して協力してもらい、不法投棄の回収をしている。いつもは40人程度だったが、去年は67人集まった。また、地元企業の協力してもらい、車で不法投棄物を引き上げた。冷蔵庫どころか自動販売機まで落ちていた。防犯カメラについては市と話をしたが、電線がないため無理。また市で常に監視するのは難しいとのことだった。防犯カメラの偽物を付けても、電線が繋がっていないため何の効果もない。

「12. 安全安心」は、具体的な話は出ていないが、残して協議してもよい。

【高宮会長】

ここまで出た意見としては、地域からいろいろな意見を出してもらうために以前行った地域ごとの意見交換をした方がよいということと、地域の団体が我々も分からないということ。

【高橋委員】

どこに話をすればよいか分からない。何の団体か分からない。これでは煮詰められない。

【高宮会長】

高橋委員からは、詰めていかなければ論議のしようがないとの意見である。高橋委員は、金谷区の町内会長会の会長と金谷地区振興協議会の会長も兼ねているため、金谷地区全体のことはよく分かる。その他の細かな団体については、私も全て把握できていない。そうすると、どこにものを頼めばよいか、どこに意見を聞けばよいか分からない。

今、資料No.6のテーマの中からどれを取り上げるかというところまで来ていないと感じているが、いかがか。

【山口委員】

まずは残りの方の意見を聞いてほしい。

【高宮会長】

分かった。

【竹内委員】

資料No.6には12のテーマがあるが、この内容から前へ進んでいないため、具体的にどうするか進めていかないと。

例えば「6. 山間地農業」については、金谷北地区農村元気会が一生懸命活動しているようである。先日、市の提案を受けてミョウガ畑を増やしたいのだが何かないかと相談され、うちのミョウガ畑は植え替えをすればまだ使えると提案した。

この12のテーマのみでは、具体性がなくて前に進まないのではないか。あるテーマについて、どの団体とつながりどうするか具体的に話していかないと、いつもその前で終わってしまう。

「9. 他団体や他地区との連携」について、有田地区では、11月18日に、有田区地域協議会委員が中心になっている市民団体が、地域の各小中学校に声を掛けて、皆で楽しめる遊びの広場を設けたそうである。

ひとつひとつ具体的に、どの団体と結んでどうしていくのか、ということにつなげていかないと。12のテーマから絞っていける要素がないため、できることから解決していく。その辺配慮をお願いしたい。

【永野委員】

この項目について話し合っても、いつも途中で詰まってしまい、うやむやになり、同じものがまた挙がってくる。最後の詰めでうやむやになってしまうため、どれから手を付けてよいか分からなくなってしまう。

この中のどれでもよいが、ひとつに絞り、2、3年かかっても徹底してするという進め方にしないと、いつまでも題目だけで終わってしまう。

【西条委員】

任期が決まっている中で、これだけというのは難しい。

強いて言えば、私は「9. 他団体や他地区との連携」。他の地域協議会の中にも、

恐らく同じように小田原評定のようになっているところがあると思うため、そういった地域協議会の方々と意見交換できれば。単独で傍聴に行くなどはあるが、ある程度メンバーがそろって会談することはあまりない。そういうところで話をしていけば、何か知恵が出てくるのではないか。

【山口委員】

12のテーマというのは非常に多いが、全て関連すること。しかも町内会長会と重なるものもある。両方で攻めるのもよいが、やはり地域協議会として何かに絞る。

「9. 他団体や他地区との連携」について、私は山麓線関係の取組に携っているが、観光の関係では、新幹線と関わるには和田地区との連携が必要になり、高田駅を利用するには高田地区。他の区にもいろいろとよいものがある。また、大貫地区に商業施設が新たにできた。その辺をリンクして、和田地区、高田地区、妙高市の飛田地区、この3つと連携していかなければ進んでいけない面もある。

「7. 路線バス」については、金谷区のメインは山麓線になってきているため、上越妙高駅から山麓線を通して直江津港へ行く新しいバス路線を要望していく。住宅の多い地区もできており、商業施設もある。路線バスは昔から南本町経由直江津港行きだが、これを上越妙高駅始発の路線に改善していくのもひとつの方法。

「12. 安全安心」は、我々にとって一番大事なこと。特に南葉林道は防犯対策が非常に悪い。その接点に防犯カメラを設置して常に撮影していれば、例えば南葉山に誘拐されたなど、何かあったときには犯人逮捕につながる。我々に関係する安全安心としては、以前も出たが、やはり防犯カメラを設置する。

「11. 不法投棄」についても、ゴミを投棄した犯人を見つけたり威圧したりできるが、いつもたちごっこである。毎年金谷地区振興協議会でボランティアをしているが、ボランティアだけではできないため、抜本的に、安全柵や不法投棄防止柵を作るなど、大がかりなものも必要。

安全安心の関係では、「8. 携帯電話の電波」。南葉山には携帯が繋がらない地域がある。そうすると、例えば谷底へ落ちたなど、何かあったときに携帯電話が繋がらない。これは第一事項。アンテナを建て、早く対処することが必要。

「10. 雨水排水」については、住民は本当に困っている。灰塚以南の青田川や

大排水路は、大水になると必ずあふれて、毎年田畑が水没している。また、山麓線開通によって水はけが悪くなり、全て大排水路の方へ流れている。地域協議会で議論するには非常に大きなテーマだから、していかなくてはいけない。

先ほど意見が出ていたが、12のテーマのうち今年はこの問題を徹底的にするなどした方がよい。

「5. 人口対策」については、市はもちろん、国、県でも取り組んでいるが、非常に難しいテーマであるため、我々では解決できないのではないかと。

「1. 観光」もそうだ。土産やダムカードなどいろいろな意見が出たが、これも大きなテーマであり、皆で協議しても言うばかりで結論が出ない。

12のテーマの中から、これはやったというようなものを取り上げた方がよいと思うが、いかがか。

【高宮会長】

半分の方の意見を聞いた際、このテーマを取り上げるという意見が少なかったため、それについてどうかと聞いた。反対側の方々も皆同じである。

今までの金谷区の地域課題に関するいろいろな意見を整理し、資料No.6の12のテーマにまとめた。今日の会議では、開催の案内にも書いてあるとおり、資料No.6のテーマをもとに、「私は『1. 観光』を取り上げたい」、「私は『3. 買い物支援』をしたい」という意見を集約し、まとめたいと思っていた。先ほど意見が出たように、毎回同じでなかなか先に進まないことから、テーマを絞り込むために、皆さんの考えを最初に述べてもらいたかったが、私が考えているものとは違った。12のテーマ全てについてではなく、この中から取り上げたいテーマを挙げ、多数決を採り、自主的審議事項に今後持っていきたいと。それが終われば、また次の課題に、という考え。

【高橋委員】

最初の説明では、テーマを絞りたいとのことだったため、意見を述べた。絞り込むのではなく、ひとつだけ選ぶのか。

【高宮会長】

例えば、「9. 他団体や他地区との連携」を取り上げたいという方は現在4名であ

る。この辺りを今日の会議で行い、何を取り上げるか決めていきたかった。

【高橋委員】

ひとつ選ぶのではないのだろう。これはいる、いないという意見でよいだろう。

【高宮会長】

それはそれでよい。

【高橋委員】

「取り上げた方がよい」という意見の数で選ぶのか。

【高宮会長】

そのとおり。

【高橋委員】

最初からそう言ってほしい。

【高宮会長】

そのような文書で皆さんへ案内を出したが、今のように、「これも」「あれも」という話であると以前と同じことの繰り返しではないか、という意見が出た。

【高橋委員】

1 2のテーマが半分になれば、今日の成果になるのだろう。

【高宮会長】

そのとおり。半分になるか、もっと絞られるか。それを決定したかったが、今日は5名欠席であるため、それは選ばない。

【高橋委員】

黒板に印を付けてあるが、あれでよいのだろう。

【高宮会長】

そのとおり。

ただ、例えば「私は『1. 観光』を取り上げてほしい」という意見を皆さんから出してもらいたかった。先般、三役で話し合い、皆さんから出された地域課題のうち、地域協議会で取り上げるものを絞り込んでいかなければならないということで、今日の会議でまとめることにした。

【高橋委員】

一番多い「9. 他団体や他地域との連携」に決まったとして、どうするのか。できないだろう。

【高宮会長】

金谷区にどんな団体があるか、調べなければならない。

【高橋委員】

どこまでするのか分からないが。

【高宮会長】

それはこれから皆で話し合う。

【高橋委員】

話し合っても、どんな団体があるかは出てこないだろう。

【高宮会長】

それは調べないといけない。

【高橋委員】

どうやって調べるのか。それはセンターでしてくれるのか。

【村田副会長】

「9. 他団体や他地域との連携」については、高橋委員の意見の他に、いろいろなことをしていく中で、例えば他の地域協議会委員の方々と打合せ会議を開く、といった意見もあった。もっとエリアを広げて、他団体の取組について教えてもらったり、意見を言い合ったりしたらどうだろうというものも4人の意見に含まれていると思う。他団体を詳しく知ることの他に、他団体と地域協議会委員との見識を広めたらどうかと。そうすればもっと広い考え方が出てきて、自主的審議事項などに結び付くのではないか、という意見が4人のうち半分あると思う。それで4人の意見になっていると思う。

【高宮会長】

観光について徹底的にするとした場合、どのようなものがあるかは、これから皆で一緒に調べる。三役と事務局とするのではなく、皆さんの知識を借りて協議していく。

【高橋委員】

一通り意見を聞いたが、意見として上がったものがあるので、そこからまた絞っていけばよいのか。

【村田副会長】

そのとおり。

【高橋委員】

そうしてほしい。

【村田副会長】

今日は11名しかいないため、採決は行わない。次回、出された意見をもとに採決を行えばよいのではないか。

【高橋委員】

12のテーマが7つに絞られた。進展しているのではないか。

【村田副会長】

次回、欠席した5名からも意見を聞いて追加し、16名で採決を行う。

【高宮会長】

このようにまとまった。

この皆さんから出された意見について、意見を求める。

【村田副会長】

協議は必要ない。次回16名で出された意見について協議する。

【高宮会長】

分かった。

・出された意見のまとめ（テーマと意見を出した委員数）

1. 観光	1人
5. 移住人口対策	1人
7. 路線バス	2人
8. 携帯電話の電波	2人
9. 他団体や他地区との連携	4人
10. 雨水排水	2人
11. 不法投棄	1人

12. 安全安心

2人

今日は欠席者が5名と大変多いため、次回の会議で、今日出された意見をもとに改めて意見を聞き、どれを取り上げるか絞り込んでいくことを諮り、委員全員の了承を得る。

例えば、「7. 路線バス」や「8. 携帯電話の電波」は企業が関係してくる。それから、電信柱、電気の話もある。折衝する団体はたくさんある。路線バスについてはこの会社があるなど、その辺は皆さんで。例えば、飯小学校区には上正善寺線があるが、これについて該当する町内で話を聞き、減便がますます増えたがどうしたらよいかとバス会社に質問したことがある。それから、関根学園の生徒が帰る時間帯に少ないという話もあったが、それはバス会社等に話したことがある。

そのように、各々でどういう団体があるかを自分なりにまとめ、意見を出し、そこに当たるというように持って行ければありがたい。

今日の各委員の意見をこのように整理することでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

【牛木委員】

携帯電話の電波塔だが、昨日、正善寺ダムの先の県道と交差するところに1本建った。地元の話もなく、業者でそこがよいと思って建てたのか。周辺に住家がないのになぜ建ったのかと思ったが、正善寺ダムの奥は春になると山菜取りに大勢来るためか。知らない間に建った。

【高宮会長】

市役所へ行き、電線が通っているか聞いた際、県道、市道によって担当する役所が違うとのことだった。後で行ってみるが、市道にあるのか県道にあるのか。

【牛木委員】

県道で、電線も通っている。そのため建てられたのか。どういった話で建てられたのか分からないが、昨日急に建った。

【村田副会長】

鉄塔か。

【牛木委員】

鉄塔。円柱のアンテナ。

【高宮会長】

自主的審議事項について、皆さんから出された意見をもとに順位を決めていきたい。今日は結論を出せなかったが、次回に引き継いでいきたい。

—次第5 事務連絡—

【高宮会長】

次第5「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

第11回地域協議会：2月28日（水）午後6時 福祉交流プラザ第1会議室

＊1月の会議は休会

- ・当日配布資料

創造行政研究所ニュースレター「創造行政」

ウィズじょうえつからのおたより

前回会議で、中郷区と吉川区で自分の区域にはない施設を自主的審議事項に取り上げているのはなぜかとの質問があったが、確認した内容を報告する。

中郷区の経塚斎場については、現在妙高市にある経塚斎場は新井頸南広域行政組合で管理しており、合併前の中郷村、板倉町もその構成員となっていたため、合併後も中郷区、板倉区の住民の方の多くはこの斎場を使用している。この度、新井頸南広域行政組合の解散にともない、使用料金が市外料金に変更になることから、市の担当から関係するこちらの2区に説明があった。それによって自主的審議としたものである。

吉川区の頸北斎場については、頸北斎場は合併前に柿崎町、大潟町、吉川町の3町からなる頸北斎場施設組合が柿崎町に建設したもので、合併後も柿崎区、大潟区、吉川区の住民の多くはこの斎場を使用していた。この度、頸北斎場の廃止案が出され、市担当課から関係する3区に説明があったことから、吉川区において自主的審

議をしたものである。

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 0 2 5 - 5 2 2 - 8 8 3 1 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。